# エコ肥料いきいきが、お求めやすくなりました。

地球にやさしいエコ肥料いきいき。どこでどのように作られているのか。皆さんご存じですか。

## エコ肥料いきいきって？

エコ肥料いきいきとは、串間エコクリーンセンターでし尿や浄化槽汚泥などから作られる肥料です。

そのまま廃棄するのではなく、複雑な工程を経ることによって、肥料へと再利用されます。

そんな地球にやさしいエコ肥料いきいきが４月からご利用しやすくなりました。

## 直接購入できます！

串間エコクリーンセンターで直接購入できるようになりました。（月曜から金曜の午前中のみ）

●**これまでは…**
市役所で引換券購入→センターで受け取る

●**これからは…**
センターで直接購入

※市役所での引換券販売もこれまでと同じく行います。

## まとめ買いもできます！

これまでは1回あたり5袋までの制限がありましたが、現在は100袋まで購入できます。

※上限数は生産状況などにより変動する可能性があります。

## 安全・安心な肥料

農林水産大臣の発行する「生産業者保証票」を取得しており安全です。主に家庭菜園や園芸用（果菜、根菜、花類など）の肥料に適しています。1袋150円。

●**問い合わせ先＝**串間エコクリーンセンター
☎72-0196　市民生活課環境保全係　内線253

## 利用者に聞きました

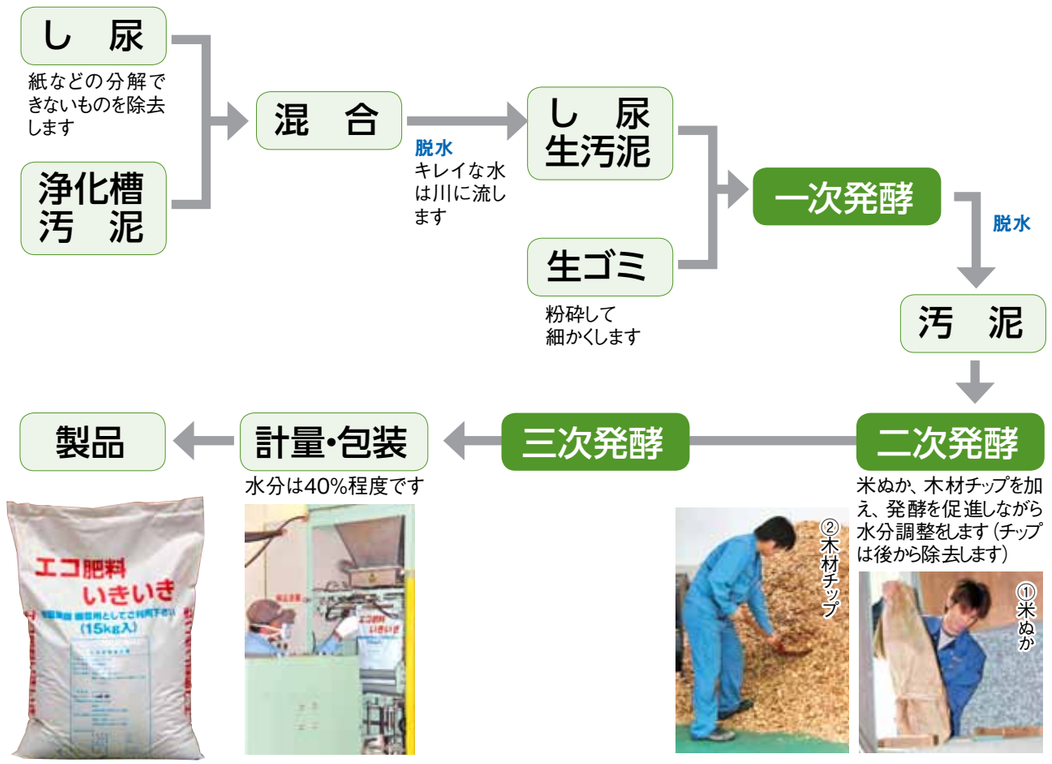
福島地区　鍛治屋
**森 一夫**さん

**親子で愛用しています。**

10年くらい前から使っています。直接買えるようになって便利になりました。季節ごとの花や野菜を育てていますが、使いやすいですよ。使っていると土が肥えてきたように感じます。都城に住んでいる息子もよく使うので、送ってあげたりしています。



## 「エコ肥料いきいき」が出来るまで




※この作業工程は、説明のために実際の工程を簡略化したものです。

## エコクリーンセンターって？

汚泥再処理施設「串間エコクリーンセンター」は、平成13年3月に建設されました。資源の再利用を行い、循環型社会の実現を目指して、同様の施設としては全国でも6番目、九州では初めての施設として開業しました。

センターでは、各家庭から出たし尿と浄化槽の汚泥を主に、学校給食や飲食店・事業所などの生ゴミ（ちゅう芥ゴミ）も同時に処理しています。これらはエコ肥料に姿を変え、有効な資源として再利用されています。また、その過程で発生するメタンガスは熱エネルギーとして有効利用されます。こうした循環型施設で『エコ肥料いきいき』は作られています。

今回は、センターの総括責任者である田中礼次郎さんに、施設や肥料についてのお話を伺いました。

●総括責任者
**田中礼次郎**さん

「施設の稼働時は苦労しました。当時は循環型施設としては先進的で仲間たちと運営を安定化させるために試行錯誤の毎日でした。今でも運転から管理まですべて自分たちでやっています。作業工程の中では脱水汚泥の水分調整に一番気を使います。（上図参照）肥料のもとになるので、水分が多すぎても少なすぎてもダメなんですよ。肥料を買われたお客さんから野菜の話とかを聞くとやっぱり嬉しいですね。この仕事は市民の皆さんの生活になくてはならないものであり、責任の重さを感じています。色んなところに影響が出てきてしまうので、1日でも運営を止めてしまうことがないように頑張っていきたいです。」